

各部会における話し合い報告

まなびづくり部

- ・学力面等の現状について話し合った。低学年のうちに習う基礎学力が大切で、特に2年生の九九をしっかりと暗唱できるかどうか大切である。そこで、下記のような取組をするとどうかと意見が出た。
- ①学力充実タイム以外でも、「九九教室」などを設定し、ボランティアの方に九九を聞いてもらう機会をつくる。
- ②学力充実タイムでは、現在、ボランティアの方に丸付けの協力をいただいているが、よりよい支援の在り方を検討していく。

こころそだて部

- ・学校生活の決まりの見直しについて話し合った。今後は、プロジェクト委員を中心に話し合いをしてもらい、そこで出た子どもたちの意見を学校生活の決まりに反映できるようにしていきたい。
- ・子どもたちの意見については、職員会議や学校運営協議会でも検討し、多くの方の意見を取り入れながら、学校生活の決まりを時代に合った内容にしていきたいと考えている。

くらしづくり部

- ・端末利用実態把握調査の設問について検討した。2月にインターネット上で保護者に回答してもらい、実態を把握したうえで、次年度の取組内容につなげていきたい。

各部会の報告に対する他の委員の意見など

(宮本委員)

- ・九九の取組はとてもよいと思うが、「徒然草」等の素読も取組内容に加えたらどうかと思う。日本の名文等を暗唱することで、集中力の向上など、様々な効果が得られると思う。

(平川委員)

- ・服装の決まりで「華美ではない服装」とあるが、分かりにくいのではないか。
- (高田委員) 以前は、キャミソールや肩出し禁止等の具体的な文言があったが、時代の変化に合わせ、現在は、保護者の判断に任せるようになった経緯がある。

まとめ

- ・各部会で大事なことを進めていただいている。本校は荒尾市で最初にコミュニティスクールになった学校である。これまでの蓄積に加え、時代の変化に合わせ新しい取組を進めていただき、感謝している。
- ・取組内容については、PTAや地域の方に発信できるようにしていきたい。